

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	図学・基礎デザイン	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布				
担当教員情報					
担当教員	三矢 雅人、藤原 成暁		実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士	
学習目的					
設計か施工かに関わらず「実務」で必要な要素となる「図面」や「模型」の基本技術／基本知識を理解する。 ☒ 社会に出ると「自分					
到達目標					
基本技術を、練習⇒ 習得 という過程を踏むことで、これからの「実践の場（＝実務や課題）」で活かせる技術を身につける。 ☒ 基本					
教育方法等					
授業概要	この授業では、基本的な技術をステップアップしながら、繰り返し練習することで身につけることが目標になる。 なお学生には得意分野・不得意分野があるので、習得スピードに差が出ることがある。 得意な学生にはステップアップをした課題に取り組み、より多くの技術を習得することを意識してもらい、あまり得意ではない学生には、 ひとつひとつの課題にじっくりと取り組んでもらい、理解を深めることを意識し、取り組んでもらいたい。				
注意点	この授業では、課題を通して訓練することが重要である。そのため、授業に出席した上で課題に真面目に取り組むことが大切になる。 （理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。） また将来を見据え課題に取り組んでもらうためには課題をただこなすのではなく自分で考えることが重要になる。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	課題を総合的に評価、平常点の内容とした「提出状況」も評価する		
	平常点	50%	授業参加度、授業態度による評価、課題提出状況（遅延提出）も評価する		
授業計画（１回～１５回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
１回	イントロ／模型製作の練習１		立方体の製作：建築表現で重要となる建築模型を作るための「基本」を学ぶための練習		
２回	模型製作の練習２		立体製作：建築表現で重要となる建築模型を作るための「基本」を学ぶための練習		
３回	図面の基礎知識を学ぶ		立体を通して、「平面図」・「立面図」・「断面図」はどういうものかを理解する		
４回	空間をデザインする１		光の空間（スタディ）：立方体の内部空間をデザインする（試行錯誤していく楽しさ）		
５回	空間をデザインする２		光の空間（スタディ）：立方体の内部空間をデザインする（試行錯誤していく楽しさ）		
６回	空間をデザインする３		光の空間（完成）：立方体の内部空間をデザインする（完成させるプロセスを学ぶ）		
７回	立体の表現方法の練習１		アイソメ・アクソメ：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習		
８回	立体の表現方法の練習２		アイソメ・アクソメ：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習		
９回	立体の表現方法の練習３		パース(1点透視図)：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習		
１０回	立体の表現方法の練習４		パース(1点透視図)：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習		
１１回	作図の練習１（平面図）		平面図の写図：リアルな建築の平面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習		
１２回	作図の練習２（断面図）		断面図の写図：リアルな建築の断面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習		
１３回	作図の練習３（立面図）		立面図の写図：リアルな建築の立面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習		
１４回	特別演習１		実験的な手法で学ぶ１		
１５回	特別演習２		実験的な手法で学ぶ２		